



黒石市物産ガイドブック

くろいし

物産  
手帖



## 黒石の魅力に触れてみませんか。

黒石市は、青森県のほぼ中央に位置し、豊かな自然と豊富な温泉に恵まれ、味の良い「黒石米」と「黒石りんご」の産地として知られる古くからの城下町です。

独特の文化に育まれた工芸品、八甲田の伏流水で仕込まれた地酒、受け継がれた伝統の技、味、文化を、お店に足を運んでいただき、触れてみてはいかがでしょうか。



黒石ならではのスイーツ  
P3 ➡ P7



黒石ならではの地酒  
P9



黒石ならではの食産品  
P10 ➡ P11

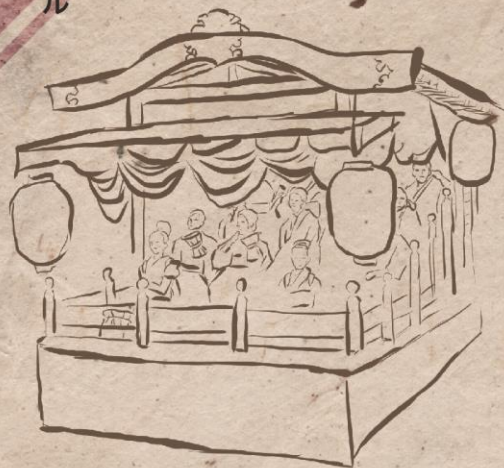


黒石ならではの創作品  
P13 ➡ P16

# 黒石ならではの スイーツ

## CONTENTS

|      |                 |
|------|-----------------|
| P 03 | こけしのあたまんじゅう     |
| P 04 | 七々子             |
| P 04 | 銘菓シャロン・黒石シュールール |
| P 04 | ミニクレープ          |
| P 05 | あつぷるパイ          |
| P 05 | アイスキャンディー       |
| P 05 | 黒石やきそばせんべい      |
| P 06 | バウムクーヘン各種       |
| P 06 | オリジナル焼き菓子       |
| P 06 | 干梅              |
| P 06 | おはぎ             |
| P 07 | 四半餅             |
| P 07 | 串だんご・津軽黒石こけしだんご |

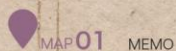


## こけしのあたまんじゅう

津軽系こけしのふる里・青森県黒石市にある「おかしのオクムラ」がこけしへの愛を込めて作った「あたまん」。パッケージにはルビンのこけしが仲間入り！おいしい黄身餡をもちもちな生地で包んだ可愛らしいおまんじゅうです。

### 「株おかしのオクムラ」

黒石市大町二丁目53 TEL.0172-52-2841  
営 9:00 ~ 19:00 休 不定休(月三回程度)  
Instagram:okumura1952



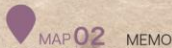
## 七々子

津軽の伝統工芸「津軽七々子塗」。その美しさに魅了され、七々子の模様をスイーツで表現しました。上品で高級感があり、思わず手にとりたくなるスイーツです。ショコラクリームの中にフランボワーズジュレを合わせた情熱の一品で、お土産品として大人気！！



### 「ベル・ブランタン笹屋」

黒石市吉乃町4 TEL.0172-52-5420  
 営9:00～19:00 休火曜日

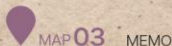


## 銘菓シャロン・黒石シューロール

内閣総理大臣賞やモンドセレクションで連続〈最高金賞〉を受賞している「銘菓シャロン」、ふんわりとした食感で深いコーヒーの香りが人気の洋生菓子です。生クリームのおいしさを堪能できる「黒石シューロール」も人気です。店頭やECサイトでお買い求めいただけます。

### 「シャロン甘洋堂」

黒石市前町17-9 TEL.0172-52-4688  
 営9:30～18:00 休不定休（お問合せください）  
<https://syaron.com/>

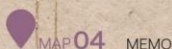


## ミニクレープ

生チョコ・ストロベリー・ブルーベリー・コーヒークリーム・生クリーム  
 リスボンといえばミニクレープ！もちっとしたクレープの皮に、生クリームをはさみ、ロール状に巻いた小さめのクレープです。大人から子供までとても人気の商品です。

### 「リスボン菓子店」

黒石市ぐみの木三丁目56 TEL.0172-53-0644  
 営10:00～（詳しい営業時間・定休日はInstagramを確認するかお店にお問い合わせください）  
 休月・火定休日  
 Instagram: risubon\_kuroishi



## あっぷるパイ (紅玉、ふじ)

りんご農家のかっちゃん(お母さん)達が自分で食べてハマるパイを作りました。「紅玉」は本来の酸味を活かして、甘いけれど後味すっきり。「ふじ」はふじらしい甘さを前面に出しつつ食べやすい味になっています。



### 「株青森りんごランド」

黒石市高館甲花岡135-2 TEL.0172-53-5701  
 営9:00～17:00 休日曜日・祝日 (1月～3月は土曜日も休業)  
<http://ringoland.co.jp/>



MAP 05 MEMO



## アイスクャンディー

昔なつかしいアイスクャンディーの「あずきキャンディー」は小豆を煮るところからすべて手作りで。楽しいネーミングの「もりもりアイス」など、手作りならではの素朴で優しい味わいが人気のアイス店です。

### 「須藤冷菓店」

黒石市大町二丁目121 TEL.0172-53-0440  
 営11:00～17:00 休月曜日 (9月中旬～4月下旬休業)

MAP 06 MEMO

## 黒石やきそばせんべい

青森県黒石市の名物「黒石やきそば」が、せんべいになりました。サクサク食感でソースの香りと青のり風味で、おやつやビールのお供としてお楽しみください。



### 「株渋川製菓」

黒石市東新町一丁目7 TEL.0172-52-2381  
 営8:30～18:00 休第1・3日曜日  
<http://www.shibusen.co.jp/>



MAP 07 MEMO

## バウムクーヘン各種 オリジナル焼き菓子

店内で焼き上げた数種類のバウムクーヘンと、かわいらしいオリジナルのお菓子を買えるお店です。出来立ての美味しさにこだわった商品は、どれもお土産やギフトに最適です。

### 「BOCOLABO」

黒石市油横丁 22-1 TEL.0172-55-7268  
 営10:00～17:00 休水・木曜日  
 X:BOCOLABO1



MAP 08 MEMO



## 干梅

「中町こみせ通り」の一角にて明治後期から営みが続いているお店。「干梅」は津軽地方で作られる梅干しに模して作られ、地元では「梅干し菓子」と呼ばれ親しまれています。白餡を薄い求肥でくるみ、塩漬けたしそで包んだ「干梅」は、しその塩味と餡の甘さが絶妙な味わいです。また、ほのかな塩味の「こみせ最中」も好評です。

### 「有松葉堂まつむら」

黒石市中町 30 TEL.0172-52-3574  
 営9:00～18:00 休不定休  
<https://matsubado.jp/>



MAP 09 MEMO

## おはぎ

やわらかく炊きあげたもち米（自家製）をあん（北海道産の小豆を昔ながらの製法で作っています）でくるんだ一品です。他にも大福、よもぎ大福、いなりもありますよ。



### 「沖野もち店」

黒石市元町 2 TEL.0172-52-2513  
 営8:00～（無くなり次第終了） 休毎週月曜日

MAP 10 MEMO

## 四半餅

「中町ごみせ通り」の一角にある創業200年以上の歴史を持つ餅店です。上新粉とあんを練り合わせ、臼と杵で丁寧に丁寧についた「四半餅」は、江戸時代からの手法そのままの当店自慢のお餅です。また冷凍販売の「抹茶クリーム大福」も人気です。

### 「寺山餅店」

黒石市中町 36-1 TEL.0172-52-2826  
 営業8:00～19:00 休元旦  
<http://www.terayamamochiten.com/>



MAP 11 MEMO



## 串だんご・津軽黒石こけしだんご

串だんご一筋50年！まったりと口当たりの柔らかいお団子は、3種類の味が楽しめて、思わず和むスイーツです。焼き目がこけしになっている「津軽黒石こけしだんご」もお土産に喜ばれる一品！ふわっとやわらかく、だんご一つひとつがくっついていないのは、機械ではなく手作りの証。磨かれた職人の技・味を、ぜひ一度ご賞味ください。

### 「横浜屋」

黒石市山形町 142 TEL.0172-52-5503  
 営業8:00～18:00 休不定休

MAP 12 MEMO



## ものしりコラム

「こみせ」とは、藩政時代から今に残る木製の庇。

夏は暑い日差しを遮り、冬は吹雪や積雪から人を守り、軒を連ねていた旅籠や呉服屋、商家にとってなくてはならないものでした。

現在もまとまった形で残されているのは、全国的にも

類例がないことから、昭和62年8月には「日本の道百選」、

平成17年7月には「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

その歴史は、江戸時代前期に始まります。

1656年に「黒石津軽家」の創立とともに、

黒石初代領主津軽信英（のぶさ）は、陣屋を造り、

分知以前からある古い町並みに

侍町・職人町・商人町を加えて、新しい町割りを行いました。

これが現在の町並みの基本となっています。

この時に作られたといわれているのが、「こみせ」です。

中町や前町は、こみせのある商店が立ち並び、

商業の中心として多くの人々にぎわい、栄えていました。

今もなお、江戸時代からの造り酒屋・呉服屋・餅屋などの

商店や当時の生活の証である雪を防ぐ「しとみ」や

馬をつなぐ「さつなぎ」が残っており、

こみせのある情緒あふれた町並みとしてたたずんでいます。



# 黒石 地酒 ならでは

## CONTENTS

P 09 特別純米酒 菊乃井  
P 09 特別純米酒 亀吉



特別純米酒

### 菊乃井

文化3年創業、「中町こみせ通り」で200年以上の歴史と伝統を受け継ぐ造り酒屋。「菊乃井特別純米酒」は青森県の「華吹雪」を使用した辛口酒。飽きのこないスッキリとした飲み口。

「株鳴海醸造店」

黒石市中町 1-1 TEL.0172-52-3321  
営8:30 ~ 16:30 休 不定休  
<https://narumijozoten.com/>



MAP 13 MEMO

特別純米酒

### 亀吉

大正2年創業、大きな杉玉がひときわ目を引く、「中町こみせ通り」の一角にある造り酒屋です。「亀吉」は全国にもファンが多い人気のブランド。手づくりの気品あふれる味わいで、さわやかな辛口タイプのお酒です。

「株中村亀吉」

黒石市中町 12 TEL.0172-52-3361  
営8:30 ~ 17:00 休 土・日・祝

MAP 14 MEMO



# 黒石ならではの 食産品

## CONTENTS

- P 10 黒石つゆやきそば、黒石やきそば
- P 10 大川原棚田米「ムツニシキ」
- 「寿司専米」
- P 11 南八甲田の水で育った  
黒石産野菜のクリーミーポタージュ
- P 11 シャイニー  
スパークリングアップルジュース
- P 11 りんごジュース

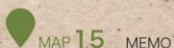


## 黒石つゆやきそば、黒石やきそばセット

やきそばのまち・黒石を代表するソウルフード！モチモチとした食べごたえのある太平麺と特製ソースがクセになる味。ご当地グルメとして大人気の「黒石つゆやきそば」は、黒石やきそばにだしがかけられたもので、こちらもまた絶妙な味わいです。やきそば専門店「すずのや」の味を、ご家庭でもぜひお楽しみください。

### 「すずのや」

黒石市前町 1-3 TEL.0172-53-6784  
 営業時間 11:00 ~ 15:00 休 毎週火曜日



## 大川原棚田米～寿司専米「ムツニシキ」～

自然豊かな南八甲田山の伏流水と地域の特色である昼夜の寒暖差により、優れた食味のお米が生産される大川原棚田地域。同地域で栽培されるさまざまな品種の「大川原棚田米（商品名：火流し恋し）」の中でも、希少品種「ムツニシキ」は、ほのかな甘みと粘りの少ないあっさり感が特徴の「おかず要らずのお米」として評価が高く、酢へのなじみやすさと魚介の旨みを引き立てる食味の相性の良さから、お寿司にぴったりの「寿司専米」としても知られています。

### 「高橋商店」

黒石市大字大川原字范森下 9-1 TEL.0172-54-8390  
 営業時間 5:30 ~ 21:00 休 不定休



## 南八甲田の水で育った 黒石産野菜のクリーミーポタージュ

八甲田連峰の伏流水が湧き出る地・黒石のおいしい水で育まれた野菜をクリーミーなポタージュに仕立てました。野菜の旨味がたっぷり入った濃厚な味わいです。北国の自然の旨みを、ぜひご賞味ください。

「(一財) 黒石市観光開発公社」お取り扱い「津軽こみせ駅」

黒石市大字板留字杉の沢 2-22 TEL. 0172-54-2358

〔営〕虹の湖公園 / 9:00 ~ 16:00 (4月中旬 ~ 11月下旬)

ダム資料館 / 4月 ~ 11月無休 (12月以降は土日祝休業)

〔休〕冬期間 <http://nijinokopark.jp/wp/>



MAP 17 MEMO



## シャイニースパークリング アップルジュース

青森りんごとソーダが出会い、おいしいジュースになりました。「スタンダード」は、モンドセレクション 2011 ~ 2013 で 3 年連続最高金賞受賞商品。雑味のないスッキリとした味わいの炭酸ノンアルコール飲料です。モンドセレクション 2014 年金賞受賞商品、果実感のあるコクと甘さが特長の「マイルド」や、2019 年春発売・甘さ控えめ強炭酸でちょっとすっぱい青りんご風味の「ドライ」も好評です。

「青森県りんごジュース㈱」

黒石市相野 178-2 TEL. 0570-048121

〔営〕8:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:50 〔休〕土・日・祝

<https://www.shinyapple.co.jp>



MAP 18 MEMO

## りんごジュース

津軽平野から南八甲田、ちょうどその山々が始まる場所にあるのが、黒石市。寒暖の差があり、おいしいりんごが穫れる産地です。山合にある園地から穫れたりんごを、ブレンドせず単一品種ごとに搾り、りんごそれぞれの個性をそのまま封じ込めた無調整りんごジュースです。

「黒石観光りんご園」

黒石市浅瀬石清川 106 TEL. 0172-52-8898

MAP 19 MEMO



## ものしりコラム

黒石市を代表する名物といえば「黒石やきそば」と「黒石つゆやきそば」。モチモチとした食べごたえのある太平麺と特製ソースがクセになる味です。全国のB級グルメが集まる祭典「B-1グランプリ」で上位に入賞し、人気を博した「黒石つゆやきそば」は、黒石やきそばにだしがかけられたもので、こちらもまた絶妙な味わい。文化庁令和5年度食文化機運醸成事業100年フードに認定されました。全国各地からその味を求めて多くの方が訪れます。



# 黒石ならではの 創作品

## CONTENTS

|           |      |      |       |      |        |              |            |           |           |            |
|-----------|------|------|-------|------|--------|--------------|------------|-----------|-----------|------------|
| P 16      | P 16 | P 16 | P 15  | P 15 | P 15   | P 14         | P 14       | P 14      | P 13      | P 13       |
| 黒石よされTシャツ | ボッコ靴 | 津軽塗  | 津軽烏城焼 | こけし  | こけし灯ろう | ずぐり独楽(さら・かぶ) | 北山真由美工人こけし | 北山盛治工人こけし | 山谷レイ工人こけし | 阿保正文工人こけし  |
|           |      |      |       |      |        |              |            |           |           | 阿保六知秀工人こけし |



### 阿保六知秀工人こけし

4寸、3寸縄文津軽こけし、8寸りんご柄こけし

第55回全日本こけしコンクールで内閣総理大臣賞を受賞した、阿保六知秀工人の工房。津軽藩の家紋である牡丹の花を描いた伝統的な温湯こけしや、干支こけし、だるまキーホルダーなど津軽らしい創作品を制作しています。

#### 「阿保こけしや」

黒石市花巻 34-3 TEL.0172-54-8865  
 図9:00～18:00 休不定休

MAP 20 MEMO

### 阿保正文工人こけし

りんご帽子こけし4寸

遊び心のある作風で人気の高い、阿保正文工人の「りんご帽子こけし」は、りんごの中から生まれたようなイメージでとってもチャームング。手の平サイズでとてもかわいくと評判です。(要事前連絡)

#### 「阿保こけしや」

黒石市花巻 34-3 TEL.0172-54-8865  
 図9:00～18:00 休不定休

MAP 20 MEMO



## 山谷レイエ工人こけし

6寸ギョロ目こけし、3寸帽子付きレインボー、3寸りんごのせこけし

こけしには珍しい巻き毛の髪とギョロツとした目が特徴の、山谷レイエ工人のこけし。地元黒石の林檎やモミジ、椿の花などが絵付けされ、遊び心と愛嬌あふれる表情が人気です。

### 「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL.0172-54-8181  
 営9:00～17:00 休年末年始  
<https://denshokokeshi.com/>



MAP 21 MEMO



## 北山盛治工人こけし・北山真由美工人こけし (6寸、4寸こけし各種) (3寸こけし各種、2寸赤ちゃんこけし)

北山盛治工人は、山谷きよ氏に師事し「山谷型」を継承。その受け継いだ型を生かしつつ、ねぶた絵師としての活動で培った描彩技術も取り入れた独自のオリジナルティーあふれる作品を作り続けています。

北山真由美工人は、父・盛治氏に師事。山谷型を継承し、かわいらしい見た目のギョロ目こけしも多く制作しております。

### 「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL.0172-54-8181  
 営9:00～17:00 休年末年始  
<https://denshokokeshi.com/>



MAP 21 MEMO

## ずぐり独楽 (さら・かぶ)

「ずぐり」とは、津軽地方伝統の独楽(こま)で、雪の上で回して遊びます。上部に軸がなく、内側はすり鉢状で、底部に「立ち子」と呼ばれる太い軸がついているのが特徴。主に、お皿に似た平たい形の「さら」と、野菜のカブのように、胴体部分が膨らんでいる「かぶ」の2種類があります。

### 「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL.0172-54-8181  
 営9:00～17:00 休年末年始  
<https://denshokokeshi.com/>



MAP 21 MEMO

## こけし灯ろう

津軽系こけしの形をしたものや、武者絵が描かれたえんつこ型まで、形も大きさもさまざまな「こけし灯ろう」。その他、津軽凧やこけしグッズ、タオル掛、コースター、うちわなど津軽の民芸品を中心にお土産をたくさん取り揃えております。

### 「こけし灯ろう店」

黒石市大字浅瀬石字清川 172-1  
TEL.090-2957-6533  
(お問合せ、ご注文はお電話にて承っております)



MEMO



## こけス

地域の活性化を目指した高校生が、地場産業である津軽の伝統こけしと世界的なチェスゲームをコラボレーションさせました。その名を「こけス」といいます。こけしのように可愛らしく、チェスの要素により世界に販売できる、黒石市だけのお土産として製作されています。駒を利用したストラップや箸置き、マグネット、カードスタンド、ブローチ、キーホルダー等も有ります。

### お取り扱い「市内各お土産店」

(津軽こみせ駅、松の湯交流館ほか)

TEL.080-6002-9610 (製作者：今 金雄)

MAP 22 MEMO

## 津軽烏城焼

かつての黒石陣屋の城壁が黒く「烏城」と呼ばれていたのが「烏城焼」の由来。世界に誇る縄文文化脈打つ青森県で、自然釉にこだわった「烏城焼」は、赤松で焼き上げられ、炎と土が織りなす「物語」が紋様として彩られます。2018年12月に完成した103.59メートルの登り窯は、世界最長の登り窯として、2019年8月にギネス世界記録に認定されました。

### 「津軽烏城焼三筋工房」

黒石市豊岡狼森 27-109 TEL.0172-53-3082  
[営]10:00～18:30 [休]毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)  
<https://www.ujoyaki.jp/>



自然釉大壺

MAP 23 MEMO

## 津軽塗

塗りと研ぎを繰り返し、完成まで約 50 工程と手間ひまをかけて作り出す、通称「津軽のバガ塗り」と呼ばれる津軽塗。伝統工芸士が一点一点丁寧に仕上げた作品は、堅牢な作りと深みのある色彩が特徴です。  
あなたの生活空間に津軽塗はいかがでしょうか。オリジナル商品も承ります。

### 「津軽塗工房」

黒石市袋富山 65-1 (津軽伝承工芸館内) TEL.0172-59-5307  
 営9:00～17:00 休火曜日 (12月～3月は月曜日休業)



MAP 24 MEMO



## ボッコ靴

1970 年代に姿を消してしまった雪国の長靴「ボッコ靴」。2005 年に見事に復活させた、幻の長靴です。天然生ゴムを使用し、裁断から成形までの全行程を手作業で行います。長時間の雪上作業でも足が冷たくならないのが最大の特徴です。

### 「K ボッコ株」

黒石市横町 1-2 TEL.0172-52-2181  
 営9:00～18:00 休不定休  
<https://www.k-bocco.com/>



MAP 25 MEMO

## 黒石よされ T シャツ

江戸時代から続く日本三大流し踊り「黒石よされ」をモチーフに、青森出身の版画家棟方志功のタッチでデザインされた「黒石よされ T シャツ」。楽しくにぎやかなお祭りの雰囲気伝える T シャツは、津軽黒石こみせ駅限定販売のオリジナル品です。

### 「津軽こみせ駅」

黒石市中町 5 TEL.0172-59-2080  
 営8:30～17:15 (大晦日は15:00まで)  
 休火曜日 (11月から次の年の4月の連休前まで)、元旦  
<https://tsugarukomise.jimdofree.com/>



MAP 26 MEMO

## ものしりコラム

「津軽系こけし」は、一本の木から作られる「作り付け」という手法と、真っ黒なおカッパ頭が特徴のこけしです。

形は様々で、胴体には牡丹・アヤマダルマ・アイヌ模様が主に描かれています。数多くの先人たちが伝統の技を

作り上げ、現在もお、その技が継承され続けており、世代を超えて人々に愛され続けています。



# くろいし 物産散策 マップ

黒石市は、歴史深い街並みや温泉、豊かな自然に囲まれた城下町です。そしてその土地の文化から生まれた、個性と魅力にあふれた黒石ならではの品々が揃っています。風情を楽しみながら地図を頼りに小さな旅に出かけましょう。



## 黒石温泉郷周辺マップ



まちなか周辺マップ



 飛行機

羽田空港 ⇒ 青森空港(約80分)  
 名古屋(小牧)空港 ⇒ 青森空港(約90分)  
 大阪(伊丹)空港 ⇒ 青森空港(約100分)  
 札幌(新千歳)空港 ⇒ 青森空港(約50分)

アクセス

 新幹線  在来線  高速バス

東京駅 ⇒ 新青森駅(新幹線:約180分)  
 仙台駅 ⇒ 新青森駅(新幹線:約100分)  
 八戸駅 ⇒ 新青森駅(新幹線:約30分)  
 新函館北斗駅 ⇒ 新青森駅(新幹線:約70分)  
 新青森駅 ⇒ 弘前駅(特急:約30分)  
 弘前駅 ⇒ 黒石駅(弘南鉄道:約30分)  
 東京駅 ⇒ 弘前駅(高速バス:約9時間)

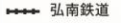
 車

川口JCT ⇒ 黒石I.C.(東北自動車道:約8時間)  
 青森空港 ⇒ 黒石駅(約45分)  
 新青森駅 ⇒ 黒石駅(約60分)  
 弘前駅 ⇒ 黒石駅(約30分)

※各区間の所要時間は概算の  
 所要時間となっております。



凡例

-  東北新幹線
-  JR奥羽線
-  弘南鉄道
-  JR五能線
-  JR大湊線
-  青い森鉄道

 お問い合わせ / 黒石市商工観光部商工課

〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号  
 TEL 0172-52-2111

 <http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>

 Visit Kuroishi 

黒石観光協会

Facebook

Instagram



令和7年7月発行